

## 令和3年度 認定こども園評価 報告書

### 1. 本年度の重点目標

「しなやかな心と体で個性豊かに遊び込める子どもに」  
 元気いっぱい遊べる子 やりとげる子  
 考えて行動する子 待てる子  
 思いやりのある子 思いを言葉で表現できる子

- ①読み聞かせによる体験保育
- ②のびのびと体を動かして遊ぶ
- ③日本の伝統を大切にしながら、外国人先生にも親しみ、真の国際人を育てる
- ④アクティブラーニングの実践
- ⑤地域の方との交流（いきいき 100 歳体操）

### 2. 園評価項目

未満児 0.1.2 歳児 / 以上児 3.4.5 歳児

| 分野   | 評価項目   | 園自己評価 改善の方策 等  | 園関係者評価   |
|------|--|--|--|
| 保育方針 | 「しなやかな心と体で個性豊かに遊びこめる子どもに」を目標に各年齢に応じた計画をたて、元気いっぱい遊べる子、考えて行動する子、友達と仲良くできる子の育成に向けて努力する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年齢別に、何度も研修を行い、一人ひとりを大切にしたい保育を進めてきた。</li> <li>・オンライン研修を取り入れ、全員がそれぞれ目的を持って研修を行った。</li> <li>・気になる子については、専門の先生に月1回来てもらい、一緒に指導方法について考え対応した。</li> <li>・園児の早朝と延長保育をコロナ対策のために、年齢ごとにして、保育を続けることにした。</li> </ul> | 連絡帳やお迎え時に口頭でも子どもの様子などを丁寧に対応していて、一人ひとり、子どもを大切にしていることがよくわかり、保護者にも喜んでもらえると思う。 |

|               |   |   |   |
|---------------|---|---|---|
| <p>職員について</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達段階及び保育、教育のあり方を学び、子どもの心に寄り添って成長を助けることや保護者との協同など、総合的に子どもの理解をめざす。</li> <li>・未満児クラスは育児担当制を導入し、乳児保育における発達特性を踏まえた保育を行う。一人ひとりと愛着形成をした上、発達に応じた援助をする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内でオンラインの研修を受け、今後の保育について話し合い、研修記録や資料を全職員に配布した。資質向上につとめた。</li> <li>・未満児については、昨年と同様に担当制を取り入れ、一人ひとりに深くかかわることが出来ることで、かなりの成果を確認した。</li> <li>・保育研修を年齢毎に実施し、より具体的に話し合うことにより対応を深めることが出来た。</li> <li>・未満児クラスは指導的立場の職員と経験不足の職員を同じ担当クラスに配置して、保育状況を目で見て理解し、指導力が向上するように配慮した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長など、困っていることがあれば話をする時間をとって対応し、一緒に理解している所が良いと思う。</li> <li>・未満児クラスの担当制について<br/>保護者の方は子どもが小さいとより詳しく様子を知りたいと思うので、日々成長していることを担当の先生から伝えてもらえるのはとても良いことだと思う。</li> </ul> |
|---------------|---|---|---|

|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">園児について</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十分な保育や教育が出来るよう努力する。子ども達が毎日楽しみに登園できるよう、一人一人の様子をしっかりと見て十分な声かけやスキンシップを行う。</li> <li>・ 感染予防を様々に工夫し、細心の注意を払い、集団全体の健康と安全を確保する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染拡大防止の為に、自宅で健康観察する日が多くあり、これまでになく、保育や教育の分野で制約が多かった。その上、全員がそろうことが少ないため発表会等、行事の準備ができなくて困った。</li> <li>・ 3歳、4歳、5歳はマスクを着用し、正しいマスクの扱い方を指導した。</li> <li>・ 手洗いや咳エチケットなど感染拡大防止のための新しいルールについて、それらが子どもたち自身や周りの人をどのように守ることになるのかを伝えた。</li> <li>・ 給食やおやつを食べるときは黙食を指導した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よい子ネットなども使い、詳しく配信しているので休んでいた場合も安心できる。</li> <li>・ 体調不良児が出た場合も、その日の様子を詳しく伝えるので、保護者からすると対応しやすいと思われる。</li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施設・整備について</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的に遊具、施設設備の点検をして、安全面に注意をはらい、ケガのないようにする。</li> <li>・ 不審者侵入対策について、録画カメラの設置をしたり、開門時の立ち当番をおいたりして、心がけている。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ対策として、各保育室に空気清浄機（クリスタルイオン）と、アルコール消毒等を設置し、安全確保につとめている。</li> <li>・ 玄関に非接触型検温器とアルコール消毒器を設置し、園内に入る人は、全員検温と消毒をすることにした。</li> <li>・ 遊具、施設、設備等の安全点検を行い、消毒を心がけた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警備職員が朝、夕とついているので、不審者などの対応は安心できる。</li> </ul>  |

保育内容について

- ・絵本の読み聞かせにより、自然や動植物、物語等に興味を持つ子供を育てる。
- ・保育内容は自分の思いを言葉で伝えられるようコミュニケーション能力を高める。
- ・アクティブラーニングの取り組みや英語学習システム「サイバードリーム」を取り入れ、園児自らがすすんで楽しみながら、努力できる子どもに成長するように導く。
- ・鉄棒、マット、跳び箱、のぼり棒等、走ったり、跳んだりすることを楽しんで挑戦できるように導く。
- ・子どもの主体性を尊重し、自ら選び、遊べる空間・時間、道具を配置し準備されている。

- ・毎日、月刊絵本の読み聞かせを行っているので、月末になるとページを開いただけで、字が読めなくても内容を語る事が出来る子どもが増えてきた。
- ・アクティブラーニングの時間を設定しているので、自分の考えを自分の言葉で自信をもって話す事が出来るようになってきた。また、お友達の意見もしっかりときく姿勢ができてきた。
- ・自主的に行動できる園児を育てるためにコーナー遊びを取り入れ、各自が楽しむ時間を設定している。
- ・英語学習「サイバードリーム」を毎日楽しむ園児が増えてきている。
- ・鉄棒、跳び箱等、体育用具を使う運動は、雨天でもホールを利用して実施することができた。運動能力もかなり伸びてきた。
- ・感染症拡大防止対策の為、地域の人たちと一緒に取り組む「100歳体操」が実施できなかった。
- ・全員そろうことが少ないので、行事も減り、絵画ができなかった。
- ・天気の良い日は2クラス単位で散歩に出かけ、地域の方々とも挨拶等の交流をした。  
(1~2歳はお散歩リングを使用)

- ・外遊びの間に“あそび”として鉄棒や雲梯などを取り入れている。
- ・絵本や英語あそびも子どもたち自ら『読みたい』『やってみたい!』という姿が見えるので主体性が出来ている。

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| <p>育 預<br/>に かり<br/>つ い 保</p>  | <p>子どもの状態に応じて、慣らし保育や合同保育等、色々な対策を行う。</p>  | <p>・年齢や子どもの発達段階に応じて、保育室や合同保育の日を決めて、充実につとめてきた。</p>   |  |
| <p>子<br/>育<br/>て<br/>の<br/>支<br/>援<br/>に<br/>つ<br/>い<br/>て</p>             | <p>・入所者以外の親子を対象とした「まちの子育てひろば」を開催している。親学をはじめとして、リズム遊びや読み聞かせ等、親子遊びの活動を通じて子育て中の親子が集える場を提供する。また、相談も随時受付けている。</p> <p>・園児の保護者には子育て学習会『親学』を年5回実施している。</p> | <p><b>園児以外</b></p> <p>・新型コロナ感染対策のために、17回中、8回しか実施できなかった。</p> <p>・教育相談を申しこんできた人に対して、相談に応じた。</p> <p><b>園児</b></p> <p>・親学を4回実施した。</p> <p>・園児の保護者には、必要に応じて、要点等をプリントして発信した。 ・適時、教育相談を行った。</p>                           | <p>・「まちの子育てひろば」は、来園した際に色々な年齢の子どもの様子を見ることが出来る。子育て中の親子が気軽に集える場を提供している。</p> |
| <p>給<br/>食<br/>等<br/>の<br/>実<br/>施<br/>状<br/>況<br/>に<br/>つ<br/>い<br/>て</p> | <p>・給食懇談会を行い看護師、栄養士、保育士を交えてアレルギー児対応や安全給食について学習会を行う。</p> <p>・給食試食会を開催し、保護者の意見を取り入れる。</p>  | <p>・感染拡大防止のため、給食試食会が中止となってしまった。その分、クラス担任と栄養士が個々の発達に合わせた個別対応について頻回に話し合い、きめ細かな対応をした。</p> <p>・アレルギー児について、一覧表を作成して全職員に周知徹底した。</p> <p>・毎日の献立や使用食材の写真を提示し、園の食事の見える化ができた。</p> <p>・給食時に「飛沫防止ガード」を取り入れた。<br/>(2.3.4歳児)</p> | <p>・給食時間の子どもの様子などを保護者へ伝えて共通理解をし、今後、子どものために出来る工夫など、話し合いが出来ている。</p>        |

|                       |  |   |   |
|-----------------------|--|---|---|
| <p>保護者会等の活動状況について</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の保護者及び職員が一体となり、園と家庭との連絡を密にし、園児に対する正しい理解を深め幼児教育の向上を図る。</li> <li>・年に数回、参加型行事や参観の機会を設けて、本園の保育について理解をえたり、意見をうかがったりする。</li> <li>・問題を抱えている園児については必要に応じて相談会を設ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まん延防止措置のため、役員会を実施することが出来なかった。<br/>会長には直接相談をして実施した。</li> <li>・「意見箱」に入っていたご意見や、直接きいたご要望については、大事に受け止めた。そして、見直すところについては速やかに対応をした。また、職員に周知させ、注意喚起した。<br/>掲示板にご意見と園からの回答を掲示した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見箱について<br/>直接言いづらいこともあると思うので、意見箱を設置していると要望が伝えやすい。</li> </ul> |
| <p>登園・降園について</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止の為、必ず保護者同伴を原則とし登園、降園時の安全に配慮する。</li> <li>・駐車場や道路での往来について、保護者へ注意をはらうよう依頼している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園児が一番多い時間帯 8時45分から9時30分までは非接触検を促すため、立ち番を続けている。</li> <li>・道路を駐車場へ横断する際、安全を確保するために、夕方16時30分～18時（降園児が多い時刻）立ち番を設けた。同じく、駐車場誘導係も設けた。</li> </ul>  | <p>立ち番があり、車両の行き来など、スムーズに行えている。</p>  |
| <p>園児募集について</p>       | <p>見学者については、日時を設けて対応している。障がいのある幼児の入園相談も行っている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者希望に対しては、見学日をもうけて、ゆっくりと丁寧に説明し、相談に応じた。</li> </ul>  | <p>実際に保育を見る機会を設けているので、保護者に安心してもらえる。</p>   |
| <p>財務状況</p>           | <p>公認会計士監査により、適正に運用されていると認められている。</p>  |   |   |

評価シート

職員人数が多く配置されていて、丁寧に対応しているので、保護者の方も安心して預けることができると思われる。

## 令和3年度 認定こども園評価 報告書

### 1. 本年度の重点目標

「しなやかな心と体で個性豊かに遊び込める子どもに」  
 元気いっぱい遊べる子 やりとげる子  
 考えて行動する子 待てる子  
 思いやりのある子 思いを言葉で表現できる子

- ①読み聞かせによる体験保育
- ②のびのびと体を動かして遊ぶ
- ③日本の伝統を大切にしながら、外国人先生にも親しみ、真の国際人を育てる
- ④アクティブラーニングの実践
- ⑤地域の方との交流（いきいき 100 歳体操）

### 2. 園評価項目

未満児 0.1.2 歳児 / 以上児 3.4.5 歳児

| 分野   | 評価項目   | 園自己評価 改善の方策 等  | 園関係者評価           |
|------|--|--|------------------|
| 保育方針 | 「しなやかな心と体で個性豊かに遊び込める子どもに」を目標に各年齢に応じた計画をたて、元気いっぱい遊べる子、考えて行動する子、友達と仲良くできる子の育成に向けて努力する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年齢別に、何度も研修を行い、一人ひとりを大切にしたい保育を進めてきた。</li> <li>・オンライン研修を取り入れ、全員がそれぞれ目的を持って研修を行った。</li> <li>・気になる子については、専門の先生に月1回来てもらい、一緒に指導方法について考え対応した。</li> <li>・園児の早朝と延長保育をコロナ対策のために、年齢ごとにして、保育を続けることにした。</li> </ul> | 各年齢に応じた対応をして頂いた。 |



|        |  |  |  |
|--------|--|--|--|
| 職員について | <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの発達段階及び保育、教育のあり方を学び、子どもの心に寄り添って成長を助けることや保護者との協同など、総合的に子どもの理解をめざす。</li><li>・未満児クラスは育児担当制を導入し、乳児保育における発達特性を踏まえた保育を行う。一人ひとりと愛着形成をした上、発達に応じた援助をする。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・園内でオンラインの研修を受け、今後の保育について話し合い、研修記録や資料を全職員に配布した。資質向上につとめた。</li><li>・未満児については、昨年と同様に担当制を取り入れ、一人ひとりに深くかかわることが出来ることで、かなりの成果を確認した。</li><li>・保育研修を年齢毎に実施し、より具体的に話し合うことにより対応を深めることが出来た。</li><li>・未満児クラスは指導的立場の職員と経験不足の職員を同じ担当クラスに配置して、保育状況を目で見て理解し、指導力が向上するように配慮した。</li></ul> |  |
|--------|--|--|--|

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">園児について</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 十分な保育や教育が出来るよう努力する。子ども達が毎日楽しみに登園できるよう、一人一人の様子をしっかりと見て十分な声かけやスキンシップを行う。</li> <li>・ 感染予防を様々に工夫し、細心の注意を払い、集団全体の健康と安全を確保する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染拡大防止の為に、自宅で健康観察する日が多くあり、これまでになく、保育や教育の分野で制約が多かった。その上、全員がそろうことが少ないため発表会等、行事の準備ができなくて困った。</li> <li>・ 3歳、4歳、5歳はマスクを着用し、正しいマスクの扱い方を指導した。</li> <li>・ 手洗いや咳エチケットなど感染拡大防止のための新しいルールについて、それらが子どもたち自身や周りの人をどのように守ることになるのかを伝えた。</li> <li>・ 給食やおやつを食べるときは黙食を指導した。</li> </ul> | <p>制約の多い中で、出来る限り対応して頂いていた。マスク着用に関しても、園児自身で対応できるようになってきたと感じる。</p> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施設・整備について</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的に遊具、施設設備の点検をして、安全面に注意をはらい、ケガのないようにする。</li> <li>・ 不審者侵入対策について、録画カメラの設置をしたり、開門時の立ち当番をおいたりして、心がけている。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ対策として、各保育室に空気清浄機（クリスタルイオン）と、アルコール消毒等を設置し、安全確保につとめている。</li> <li>・ 玄関に非接触型検温器とアルコール消毒器を設置し、園内に入る人は、全員検温と消毒をすることにした。</li> <li>・ 遊具、施設、設備等の安全点検を行い、消毒を心がけた。</li> </ul>   | <p>感染対策は適切に実施されていた。不審者侵入対策についても設備、訓練の対応がされていた。</p>               |

保育内容について

- ・絵本の読み聞かせにより、自然や動植物、物語等に興味を持つ子供を育てる。
- ・保育内容は自分の思いを言葉で伝えられるようコミュニケーション能力を高める。
- ・アクティブラーニングの取り組みや英語学習システム「サイバードリーム」を取り入れ、園児自らがすすんで楽しみながら、努力できる子どもに成長するように導く。
- ・鉄棒、マット、跳び箱、のぼり棒等、走ったり、跳んだりすることを楽しんで挑戦できるように導く。
- ・子どもの主体性を尊重し、自ら選び、遊べる空間・時間、道具を配置し準備されている。

- ・毎日、月刊絵本の読み聞かせを行っているので、月末になるとページを開いただけで、字が読めなくても内容を語る事が出来る子どもが増えてきた。
- ・アクティブラーニングの時間を設定しているので、自分の考えを自分の言葉で自信をもって話す事が出来るようになってきた。また、お友達の意見もしっかりときく姿勢ができてきた。
- ・自主的に行動できる園児を育てるためにコーナー遊びを取り入れ、各自が楽しむ時間を設定している。
- ・英語学習「サイバードリーム」を毎日楽しむ園児が増えてきている。
- ・鉄棒、跳び箱等、体育用具を使う運動は、雨天でもホールを利用して実施することができた。運動能力もかなり伸びてきた。
- ・感染症拡大防止対策の為、地域の人たちと一緒に取り組む「100歳体操」が実施できなかった。
- ・全員そろうことが少ないので、行事も減り、絵画ができなかった。
- ・天気の良い日は2クラス単位で散歩に出かけ、地域の方々とも挨拶等の交流をした。  
(1~2歳はお散歩リングを使用)

月刊絵本の読み聞かせは園児が暗記してしまうぐらい実施されていた。

お散歩に関しては楽しそうに歩いている様子が見え、いつも気持ちの良い挨拶をして頂いていた。

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <p>育 預<br/>に かり<br/>つ い 保</p>  | <p>子どもの状態に応じて、慣らし保育や合同保育等、色々な対策を行う。</p>  | <p>・年齢や子どもの発達段階に応じて、保育室や合同保育の日を決めて、充実につとめてきた。</p>   |   |
| <p>子<br/>育<br/>て<br/>の<br/>支<br/>援<br/>に<br/>つ<br/>い<br/>て</p>             | <p>・入所者以外の親子を対象とした「まちの子育てひろば」を開催している。親学をはじめとして、リズム遊びや読み聞かせ等、親子遊びの活動を通じて子育て中の親子が集える場を提供する。また、相談も随時受付けている。</p> <p>・園児の保護者には子育て学習会『親学』を年5回実施している。</p> | <p><b>園児以外</b></p> <p>・新型コロナ感染対策のために、17回中、8回しか実施できなかった。</p> <p>・教育相談を申しこんできた人に対して、相談に応じた。</p> <p><b>園児</b></p> <p>・親学を4回実施した。</p> <p>・園児の保護者には、必要に応じて、要点等をプリントして発信した。 ・適時、教育相談を行った。</p>                           | <p>配布されたプリント類がとても参考になった。</p>  |
| <p>給<br/>食<br/>等<br/>の<br/>実<br/>施<br/>状<br/>況<br/>に<br/>つ<br/>い<br/>て</p> | <p>・給食懇談会を行い看護師、栄養士、保育士を交えてアレルギー児対応や安全給食について学習会を行う。</p> <p>・給食試食会を開催し、保護者の意見を取り入れる。</p>  | <p>・感染拡大防止のため、給食試食会が中止となってしまった。その分、クラス担任と栄養士が個々の発達に合わせた個別対応について頻回に話し合い、きめ細かな対応をした。</p> <p>・アレルギー児について、一覧表を作成して全職員に周知徹底した。</p> <p>・毎日の献立や使用食材の写真を提示し、園の食事の見える化ができた。</p> <p>・給食時に「飛沫防止ガード」を取り入れた。<br/>(2.3.4歳児)</p> | <p>献立の掲示は、何を食べたのか非常にわかりやすくなり、良かった。</p> <p>帰りに掲示を見ながら子供が報告をしてくれる事も多く、よい機会になっている。</p> |

|                       |  |   |  |
|-----------------------|--|---|--|
| <p>保護者会等の活動状況について</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の保護者及び職員が一体となり、園と家庭との連絡を密にし、園児に対する正しい理解を深め幼児教育の向上を図る。</li> <li>・年に数回、参加型行事や参観の機会を設けて、本園の保育について理解をえたり、意見をうかがったりする。</li> <li>・問題を抱えている園児については必要に応じて相談会を設ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まん延防止措置のため、役員会を実施することが出来なかった。<br/>会長には直接相談をして実施した。</li> <li>・「意見箱」に入っていたご意見や、直接きいたご要望については、大事に受け止めた。そして、見直すところについては速やかに対応をした。また、職員に周知させ、注意喚起した。<br/>掲示板にご意見と園からの回答を掲示した。</li> </ul> | <p>感染拡大防止の為、保護者の参加型の行事が少なかったと理解している。</p>     |
| <p>登園・降園について</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止の為、必ず保護者同伴を原則とし登園、降園時の安全に配慮する。</li> <li>・駐車場や道路での往来について、保護者へ注意をはらうよう依頼している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園児が一番多い時間帯 8時45分から9時30分までは非接触検を促すため、立ち番を続けている。</li> <li>・道路を駐車場へ横断する際、安全を確保するために、夕方16時30分～18時（降園児が多い時刻）立ち番を設けた。同じく、駐車場誘導係も設けた。</li> </ul>  | <p>立ち番、駐車場の誘導に関しては確実に実施されており、安全に配慮されていた。</p> |
| <p>園児募集について</p>       | <p>見学者については、日時を設けて対応している。障がいのある幼児の入園相談もを行っている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者希望に対しては、見学日をもうけて、ゆっくりと丁寧に説明し、相談に応じた。</li> </ul>  |  |
| <p>財務状況</p>           | <p>公認会計士監査により、適正に運用されていると認められている。</p>  |   |  |